



One Controlにとって初の空間系ペダル  
はこのサイズに電池使用可能なリバーブを作り出しました。  
様々な歪みペダルをリリースしている頃、このペダルの制作は  
ひっそりとスタートしました。  
電池を搭載することのできるリバーブペダルを。  
可能なのか？  
小さな疑念は私たちの諦めることの無い頭脳の前では  
乗り越えるためにある超えるべき壁です。  
そしてここに完成しました。  
さあ、これがギタリストが求めるリバーブです。

リバーブエフェクトの開発にあたり、私はギタリストが求めるリバーブのセッティングを追い込んだ。実際に私がギターを弾く際にもそうだが、スプリングとホールの間、ホールよりなリバーブトーンを求めることが多いようだ。そしてリズムの邪魔にならないよう設定できる正確なDecayコントロールを加えた。自信はあったが、実際に PRUSSIAN BLUE REVERB (PBR) の音を聞いて驚いた。まさにこの小さなペダルの中に、どこまでも広がる空間が入っているといえる。ギターとベース用に作ったペダルなので、エレキギターやエレキベースだけでなく、アコースティックギターやベースにも最適だ。特に歪みエフェクトの後、トレモロエフェクトの前にPBRを接続した音は最高だね。

——Bjorn Juhl

# One Control PRUSSIAN BLUE REVERB

User Guide ユーザーガイド

CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、プルシアンブルーリバーブをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本機の性能を十分に発揮するため、  
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

リバーブエフェクトは、空間の中で音を出した時に生ずる穏やかな反響をシミュレートします。  
エレキギターやエレキベースであっても、その他の電子楽器、アコースティック楽器など、全ての音は耳に届くまでに空間の反響を含みます。  
広々とした、理想的な反響を考えて作られた空間の特等席で聴く音こそ、楽器が作る最高のパフォーマンスと言えます。

PRUSSIAN BLUE REVERB は、その理想的な反響を作るためのリバーブエフェクトです。この反響を作るため、歴史上様々なリバーブシステムが作られてきました。リバーブのためだけの部屋を設けたり、プレート、スプリング、そしてデジタルリバーブ……リバーブエフェクトの歴史的な進化は、理想的な反響を追い求めたものでした。

現在、デジタルエフェクトの技術は発展し、歴史的なリバーブエフェクトは簡単にシミュレートすることができます。かつての名盤で奏でられた音を求めるなら、これらのシミュレートはとても有用です。また、リバーブエフェクトに新たなアイデアを加えた個性的な新しいエフェクトも、とても素晴らしい効果を作ります。

PRUSSIAN BLUE REVERB は、それらの歴史的なシミュレートやリバーブから派生したエフェクトとは違います。  
BJF は、実際にギターやベースをプレイする際、プレイヤーが本当に求めるリバーブを目指して開発を行いました。

濃厚で強力なスプリングリバーブや、オクターブアップをかけた幻想的な“エフェクターとして”のリバーブトーンではなく、常に ON にして使うことで楽器の持つポテンシャルを最大限に発揮するための“理想的なリバーブトーン”を求めたのです。

PRUSSIAN BLUE REVERB は、24bit の高音質デジタルチップに BJF のカスタムプログラムを収録したリバーブペダルです。もちろんドライシグナルはデジタルに変換されることのないアナログドライスルー構造です。

ギタリストやベーシストにとっての理想のリバーブトーンとは、“スプリング”でも“ホール”でもなく、“ルーム”でもない、それぞれの特性を合わせた、中間的で主張しすぎることのない、それでいて存在感のあるリバーブです。  
あえて比較するとすれば、スプリングよりもホールよりなトーン、しかしホールリバーブのようなやり過ぎるブライツさはありません。  
リバーブシグナルのディケイタイムをランダムに変調することにより、モノラルエフェクトでありながら音が空間的に拡散するような効果を作ります。そして、このランダムな変調はギターやベースの弦振動特性に近くなるようにプログラムを行っています。  
これは“反響を個別に録音して重ねた”ような従来のリバーブアルゴリズムとは違っており、PRUSSIAN BLUE REVERB ならではの特徴であり、自然で立体的でありながら地味ではない、プレイヤーが真に求める理想のリバーブトーンに最も近い音なのです。

さらに、PRUSSIAN BLUE REVERB は一般的なスプリングリバーブと比較し、5 倍程度の広さのダイナミクスレンジを有しています。あまりにトレブリーになりすぎたり、特にベースで音が飽和しすぎることの無いよう、フィルタリングをかけていますが、リバーブエフェクトとして広いダイナミクスレンジは開放的な空間特性を作ります。

そして同時に、反響がリズムに干渉しないよう、Decay コントロールを設けました。BJF の設計した Decay コントロールは一般的なリバーブの“残響の長さ”を調整するだけのコントロールではなく、ギターやベースのトーンに合わせてシームレスに減衰するようなセッティングを簡単に行うためのコントロールです。ディケイタイムは 2ms から 2s まで設定でき、音にふわっとした残響が乗るだけのセッティングから、いつまでも残響が続くようなトーンまで、実際に音を作ることができます。  
正確な Decay コントロールと圧倒的にナチュラルなリバーブトーンは、現代の技術の粋を集めて作られたスタジオクラスのリバーブユニットに近いと言えます。しかもそのリバーブユニットはギターやベースのためだけに設計されているのです。

PRUSSIAN BLUE REVERB のアーリーリフレクションは短く設定されています。ギターやベースのアタックからリバーブが立ち上がるまでの時間が短く、またそのリバーブトーンが圧倒的にナチュラルなため、不自然に残響が突然目立つようなこともなく、弾いた直後から立体的に音が広がる、PRUSSIAN BLUE REVERB ならではの感覚を作ることができます。

また、PRUSSIAN BLUE REVERB には Kill Dry スイッチでドライシグナルをミュートすることが出来ます。  
多くのラックタイプのエフェクトなどに搭載される機能ですが、一部のギターアンプやミキサーなどのパラレルエフェクトループに接続して使用する際に効果的です。また、メインのシグナルチェーンに Kill Dry にした PRUSSIAN BLUE REVERB を接続すれば、短いアーリーリフレクションの設定によりスローヴォリュームエフェクトのような使い方も可能です。

## ●各部の名称と使い方

INPUT: ギター/ベース側のケーブルを接続します。

OUTPUT: アンプ側のケーブルを接続します。

LEVEL: 出力音量を調整します。

DECAY: リバーブペダルエフェクトの残響時間の長さを調整します。

TOYNE: リバーブの音色を高域を中心に調整します。右回りで高域が強くなり、左回りで高域が弱くなります。原音には影響しません。

KILL DRY (内部): ドライシグナルの出力をミュートします。

FOOT SWITCH: エフェクトの ON/OFF を切り替えます。OFF 時はトゥルーバイパスとなります。

DC INPUT: センターマイナスのスタンダードな 9VDC アダプター (One Control EPA-2000 推奨) を接続します。

9V BATTERY: 裏面 4 角のスクリューを外し、裏蓋を開けて 006P 型 9V 電池をセットします。

## ●特徴

- BJF による完全新設計のリバーブペダル
- 圧倒的にナチュラルで立体的に音が拡散するサウンド
- リズムに干渉せず、自然なセッティングができる Decay コントロール
- キルドライ機能搭載
- アルミ削り出しのハイクオリティなミニサイズケース
- 電池内蔵も可能

## ●Specification

- インプットインピーダンス : 500K
- アウトプットインピーダンス : 2K
- 駆動電圧 : 8-12V
- 消費電流 : 60mA
- S/N 比 : -96dBm
- サイズ : 39Wx100Dx31H mm(突起含まず)
- 47Wx100Dx48H mm(突起含む)
- 重量 : およそ 160 グラム(電池挿入時 200 グラム)
- トゥルーバイパススイッチング
- ※電池は付属しません。

※最初に電源を入れてから内部デジタルチップが安定して駆動するまで数秒程度かかります。その間は音色が安定しない場合がございますので、アダプター接続後数秒はバイパス状態で待機してください。また、仕様上、エフェクトを ON にするとケーブル等からの小さなノイズにもリバーブがかかるため、楽器側をミュートしていても小さな音が出る場合があります。完全なミュートをする際にはエフェクトをバイパスにしてください。